



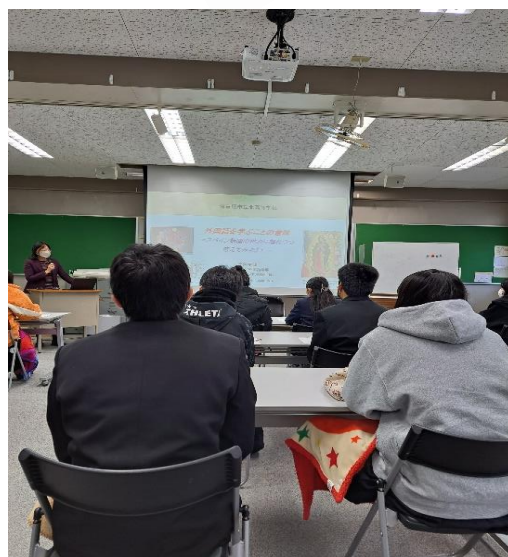
# Polaris news

【北高ニュース NO.202213】

## 「異文化理解講演会」

スペイン語圏の魅力に触れつつ外国語を学ぶことの意味を考えよう！  
(2022.12.15)

南山大学教授牛田千鶴先生に本校へお越しいただき、国際理解コースの2年生を対象に講演をしていただきました。スペイン語圏の国々の歴史や文化、スペイン語の有用性についてもご紹介いただき、生徒の中にはスペイン語が思いのほか多くの国々で話されていることにびっくりしているものや、英語以外の言語学習の意義などを再認識しているものもいました。また、進路選択の一つとしてスペイン語を認識した人もいたようでした。



### ■生徒の感想より

- ・スペイン語を公用語とする国が世界で21カ国あり、世界の約1割を占めるということを知りました。今年のサッカーワールドカップに出場している国の中では5カ国もあります。スペイン語圏にサッカーが強い国が多いというのが面白いと思いました。
- ・牛田先生の体験談を聞いて、「多言語を学ぶことは、自身のアイデンティティの礎となる母語+国際共通語としての英語+相手の心に寄り添い共感するための言語を学ぶことだ」と改めて深く理解し、私たちが生きていくグローバル社会では必要になることだと思いました。
- ・イサベル女王のように世界に出る積極性を持っていきたいと思いました。不可能を恐れなかったその時代の人たちのように、不可能や失敗を恐れなくて挑戦していきたいと思いました。
- ・一番興味深かったのはマチュピチュの麓の村の初代村長が日本人だったという話です。村長の野内与吉さんがポストや列車、裁判所などを作ったということを知り、言語が全く異なる国で活動していたことに尊敬の念を抱きました。そしてこのように足りない部分をお互いに補い合う関係は今後も国際協力を行って行く上で重要なことだと思いました。